

第3回 海外学校とのオンライン交流会を開催！（プラットフォーム事業）

11月19日（水）5校時、安浦中学校3年3組の生徒が大韓民国の Gongju Girls' Middle School（公州女子中学校）とオンライン交流を行いました。これは広島県教育委員会指定事業として、「外国語科の授業における主体的なコミュニケーション能力の育成」を目指して実施されているものです。

今日の授業は「相手や班メンバーの会話を聞きとり、自分の考えを表現し、会話を続けることができる。」とし、生徒たちは挑戦しました。

笑顔で弾んだコミュニケーション！

交流が始まると、生徒たちはすぐに緊張を解き、お互いに自己紹介をした後、好きな食べ物、人気のアーティスト、地域の名所と特産品といった具体的なトピックについて活発に話をしていました。生徒は、相手の言葉に熱心に耳を傾け、積極的に自分の考えや興味を英語で表現し、会話を続けることができていました。これまでの交流で育成を目指してきた「間違いを恐れず、自ら進んで英語を発信する態度」がしっかりと発揮されていました。



さらなる自信と喜びと新しい発見

教室は、終始、楽しく、活気に満ちた雰囲気に入れられ、生徒たちからは自然な笑顔があふれていました。特に、韓国の生徒が広島のことについてよく知っていることに、本校の生徒たちは驚きの声を上げました。また、食べ物では牡蠣やお好み焼き、お菓子では「かっぱえびせん」が両国に存在することにびっくり！「おんなじだ！」と喜びを分かち合いました。ただし、パッケージが異なる点など、会話を通じて日本と韓国の文化の違いを新しい発見として学び、お互いに親しみを持つことができたようです。



英語でコミュニケーションをとることが初めてだったので、難しいと感じることもあった。でも、会話が通じ合えた時は、気持ちが通じ合えたと思っても楽しかった。仲良くなった。もっと英語を頑張ろう！（生徒）

自分たちが学習したことが「通じた！」「理解できた！」と喜びをもって経験できる機会となりました。相手が興味を持っているようなことを想像し、こちらがお勧めしたいものなどを、情報も加えて紹介する準備をしました。自分の中に色々な情報や知識があること・たくさんの vocabulary があると、会話は弾むことを身をもって知ることができました。（英語科 堀内）

